

事業概要：複合型交流拠点を核とした「那賀川未来創出」事業

申請者	徳島県阿南市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,369,364千円 (54,436千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業		
目的・効果	<p>・新たに整備する「複合型交流拠点」を核として、「那賀川町への訪問者の増加」や「町内での消費行動の拡大」、「地域資源を活かした那賀川町ならではのブランド展開」が一体的に実現できる取組を展開することで、那賀川町が抱える課題を解決するとともに、地域外の多様な人材を惹きつけ「関係人口」の創出・拡大を図り、人口減少社会における地方創生の先導的なモデルを構築する。</p> <p>・また、行政と事業者が垣根なく連携する「公民ボーダーレス」な運営を核とし、地域の歴史・農産物、そして科学センターが有する専門的な知見といった資源を、新たな経済価値や体験へと転換する。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 那賀川町エリアの新たな中核拠点となる「複合型交流拠点」を新設し、「阿南市への人の流れ」を生み出すとともに、「交流拠点内でのにぎわいの創出」に加え、「周辺施設との周遊性の向上」を図り、那賀川町の輝かしい未来を創出する。</p> <p>また、単なる既存施設の集約にとどまらず、ランドマークとしてのバリューを高めるため、新たな機能として「公民連携での運営を目指す『カフェスペース』や「催しや作品展示に利用できる『イベントスペース』」、「地域資源を活用した那賀川特産品を販売する『物販スペース』」、「複数人での訪問につながる子育て世帯を呼び込む『子育て支援スペース』」など、施設そのもののバリュー向上に直結する「未来創出スペース」を整備する。</p>						
	<p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <p>○拠点整備事業 ・複合型交流拠点（仮称）実施設計等 54,436千円</p>						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①那賀川町における地場産品の売り上げ増加率（+55%） ②施設の年間利用者数増加率（+100%） ③施設を活用した公民連携プロジェクト実施件数（+20件） ④施設の年間維持管理費削減率（+50%） ⑤那賀川町における市外からの客数増加率（+30%）</p>					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.anan.tokushima.jp/docs/2026060200028/